



園長便りひがし

令和7年8月1日
宮崎ひがし幼稚園
文責園長 花宮 伸利

お泊り保育

7月25日から26日にかけて年長さんのお泊り保育が行われました。まず恒例のスイカ割りからのスタートになりました。日頃スイカ割りなどはしないので、目隠しをした子ども達はとんでもない方向に進んで行って大笑いでした。その後はおいしくスイカをいただきました。午後からは科学技術館で遊んだ後、このはな



の湯で温泉に入り、花火や練習してきた出し物を行いました。次の日は宝探しをしてたくさんの景品を持って帰りました。全員、元気に過ごすことができ、たくさんの思い出ができました。

水遊び

今年の7月は気温が高く、暑い日が続きました。子ども達も水遊びを楽しみにしているようで、朝から「今日プールある？」と何度も聞き返してくる子が多かったです。水を怖がる子もいないのでみんな水の中で大はしゃぎでした。



「祝福神」

私たちが生活を送る上で、大切なことの1つは、「元気であること」だと思います。その元気の素になるものが「感謝する心」ではないでしょうか。「ありがとうは心の栄養」と言って、言葉をかけられた人はもちろん、言葉を発する人にとっても、大きな心の栄養となります。ある心理学者は、「ありがとうの五文字には、健康のみならず運命までも、変化させる最高の力がある」と言っています。「ありがとう」を多く口にする人は、言葉の波動を受けて体内の水分や血液が再生され、健康体になるそうです。

そのために欠かせないのが、プラスの言葉です。「うれしい、楽しい、幸せ、愛している、大好き、ありがとう、ツイてる」これが七福神ならぬ「祝福神」と言われる七つの言葉だそうです。これを言うと、もっともっとそれを言いたくなるようないいことがやって来ると言います。

例えば、いただきものをした時には、「いや～、悪いですね、すみません。」と遠慮した言い方をしてしまいがちですが、「うわあ～、嬉しい、ありがとうございます!」と尝试してみると、贈った方も、またしてみたいと感じ、さらにいただきものが増えてくるのだそうです。「言霊の力」というのは本当にすごいのですが、それ以上に大切なのは「言わない言霊」です。「不平不満、愚痴、悪口、文句、泣き言」これらはマイナスエネルギーを発する言葉で、これに類する言葉は遣わないことが大切だそうです。言葉には、言えばそれと同じような言葉が返ってくる力があると言います。それは、言葉がプレゼントだとしたら、もらった側も同じようなものをプレゼントしたくなるからかもしれません。ぜひこの「祝福神」を試していただき、自分はもちろん皆様の周りの方も元気になっていただきたいと思います。